

テスト採点業務の負担軽減―AnswerBoxCreator-Z導入による効果

世間で「働き方改革」がキーワードとなる中、学校現場の労働時間の長さや社会的な問題になっている。

校務分掌や職員会議・研修、生徒指導や部活の顧問、保護者対応など、授業や行事以外でも教員の校務は多岐にわたる。そうした教員の負担を少しでも軽減するために、デジタルテストシステムを採用する学校もある。

神戸市立大池中学校（兵庫県神戸市北区、西崎 渉校長、以下大池中と称す）では、ゼッターリンクス株式会社（東京都荒川区、山田 邦裕社長）が開発したデジタルテストシステム「AnswerBoxCreator-Z（以下、ABCZと称す）」を市内でも先駆けて導入している。

ABCZはMicrosoft社のWordと教員が作ったオリジナルの問題に、システムを使って解答欄（AnswerBox）を作る。テスト運用フローはタブレットPCなどでのデジタルテスト方式と、今まで通り印刷して配布するテスト運用が可能で、テストの運用フローの大幅な変更の必要がない。回収後、教員のPCで採点・集計を行う。



同校では公開研究会が開催された

選択問題の採点自動化・記述問題の串ざし採点・集計結果のエクセル出力が可能なので、既存のテストシステムを残しつつより効率的なテストが実施できる。

一．導入目的

大池中学校では、①教員の採点業務の負担軽減、②定期考査データ化、③テスト作成方針の転換といった目的で導入を決定した。

二．検証実施教科と実施期間

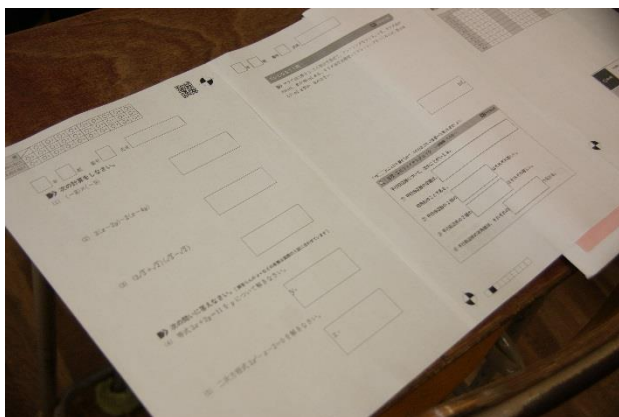
二〇一七年六月～十一月末までの定期考査、実力考査にて運用。教科は理科・数学・英語・国語の四教科四名で検証を開始した。

二学期期末考査からは、さらに三教科四名を追加し、合計八名で利用している。

三．導入効果

今回、明らかになった効果は大きく三点。①テストのデータ化によるエビデンスの収集とデータの活用、②採点業務の負担軽減、③新学習指導要領と入試傾向に合わせた出題の変更。

採点集計表の作成により、設問別正誤一覧、得点率分布グラフ、設問別得点率、選択肢解答分布の各帳票が自動作成され、数値データを元に結果を分析し、生徒への個別指導が可能となる。生徒自身が個人結果を見て、自発的に質問するケースも増えた。



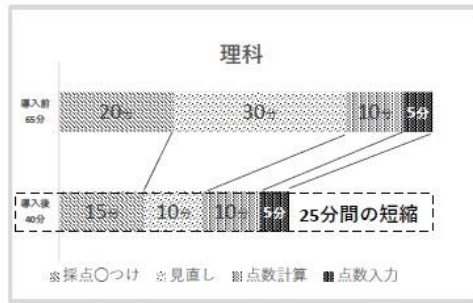
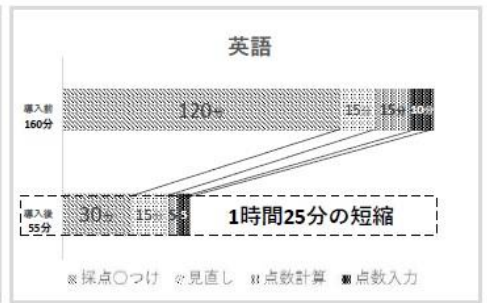
教育公開研究会で実施された小テスト



テスト後の採点業務で威力を発揮するABCZ

また、管理職から教科担任の先生へ傾向を聞いた際に数値データを元に具体的に傾向と対策を聞くことができるようになった。

検証を行った際には採点時間の比較を導入前後で比較したが、採点時間が大幅に短縮され採点業務の負担軽減につながる事が判明（表①参照）。導入アンケートでは「（記述問題が画面上で）比較しやすい」「（用紙を）パラパラめくる必要がなくなるのがあるがたい」「全解答を一度に並べて表示されるため、正答・誤答が確認しや



※採点○付け ※見直し ※点数計算 ※点数入力
 ■採点○付け操作 ■採点の見直し ■点数計算および観点別集計
 ■生徒の成績を管理する帳票に点数入力

表①

から一〇問近く減少させ知識活用型に変わりつつある。
四. 検証における課題に関して
 新しいシステムの利用にあたり、操作に不慣れた教員の新しい負担に成っては本末転倒である。操作方法に慣れるまで何回か試験的に操作してみる必要があった。新しく導入する教員への指導は先に導入した教員から行うことで、波及しつつある。



暗記型から知識活用型への移行にも効果が。

すい」という意見が多く寄せられた。表①テストの問題作成についても学校の方針として、新学習指導要領や入試問題の傾向に合わせて暗記型から知識活用型の問題に移行。ABCZのシステム導入と合わせた効果として、問題数が六〇問以上あった暗記型

実際にABCZを活用されている同校の元松修平先生にお話を伺った。

(聞き手 大谷武彦)

—大谷 ICTを活用した授業を展開されておられました。ひとつは、授業内容を理解するツールとして、二つ目は採点業務があると思うのですが、今日は小テストをされていました。
 —元松 ABCZでの小テストをやってみよう、ということ、子供たちも慣れない中でなかなか難しかった様ですが、回答欄に大きいスペースがあって、あれは良いなど。毎回回収しても、一覧で見れるのは分かりやすく良いですね。
 —大谷 問題のプロセスを書かせて、慣れさせていく必要がありますよね。数学だからといって答えだけを書くのではなく、文章で答えるのは大事かもしれませんね。



神戸市立大池中学校 元松修平先生



ABCZで作業スピードが上がった

—元松 最近の問題の傾向はそうですね。今の中学三年生はセンター試験が無くなる第一号になるので、今準備をしているところです。
 —大谷 実際、ABCZを使って、記述問題を並べて採点されるのはこれからですか？
 —元松 テストでは毎回採点で使っています。とても使いやすいですね。数学は記号が少ないので、英語とか国語とか記号のある教科については、すごく作業スピードが速いです。回答の傾向も分かりやすいですね。最初は、一人の生徒の解答用紙を見て、こういうところを間違えてるな、と思っただんですが、これを使うと全体像が見えやすくなります。
 —大谷 評価と指導の繋がりが出ますよね。